

# アクションプラン 検証シート (2024 年度実績)

項目番号 2-(1)-(ア)	具体的な 取組	認知症サポーターになろう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (1) 認知症の人やその疑いがある人の増加に伴う対応				
事業目的・内容 認知症に関する正しい知識を有し、認知症の人やその家族のよき理解者となる認知症サポーターを増やし、認知症の人やその家族が安心して暮らすことのできる地域づくりを進めるため、平成 18 年度から、区民や地域団体・事業所等を対象とし、地域住民の要請等に基づき、地域包括支援センター等が企画して、認知症サポーター養成講座を開催している。 これに加え、東区では、若い世代から認知症を知り理解を深めることが重要であるため、小中高等学校の児童生徒や大学生を対象とした講座を年 1 回、各学校において開催している。				
○課題と対応 認知症の人やその疑いがある人の増加が見込まれるため、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みを作る。				
○指標 認知症サポーター養成講座の実施校数			○目標値の考え方 2019 年度の実績として小学校 1 校、私学の中高一貫校 1 校が未実施のため、2025 年度までに小中高大全ての学校での実施を目標とする。その後も全ての小中高大の学校での実施を継続する。	
○目標値と進捗状況				
	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	23 校 小学校 10/12 中学校 7/7 高等学校 4/5 大学 2/2	24 校 小学校 12/12 中学校 7/7 高等学校 3/3 大学 2/2	21 校 小学校 11/12 中学校 7/7 高等学校 1/3 大学 2/2	88%
○2024 年度の実績等 上記の通り。 未実施校について)・高等学校 2 校については、開催を調整したが実施希望がなかった。 (2025 年度は実施が決まっている) ・小学校 1 校については、学校で認知症をテーマに学習することが決まっていたため実施に至らなかった。 令和 7 年度の開催学校 (小・中学校)				
区分	実施校			
小学校	福木小、上温品小、温品小、戸坂小、戸坂城山小、東浄小、牛田新町小、早稲田小、尾長小、矢賀小、中山小 (11 校)			
中学校	福木中、温品中、戸坂中、牛田中、早稲田中、二葉中、城北中 (7 校)			
○2025 年度の目標値と取組方針等 認知症サポーター養成講座は概ね全学校で実施できており、未実施校についても認知症の人に関する理解を深める学習は各校で実施されている。 まちづくりプランの見直しにより、本項目は削除するが、事業としては引き続き実施する。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 2-(1)-(イ)	具体的 な取組	認知症支えあいカフェを広めよう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (1)認知症の人やその疑いがある人の増加に伴う対応				
事業目的・内容 認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活できるよう、平成 26 年度より認知症の人とその家族、地域団体、医師・社会福祉士・保健師等が、概ね月 1 回程度、地域の集会所や病院などで気軽に集い交流を図る認知症支えあいカフェを開催している。専門職による相談・助言により、地域で認知症の人とその家族を支える体制づくりを進める。				
○課題と対応 認知症の人やその疑いがある人の増加が見込まれるため、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みを作る。				
○指標 認知症支えあいカフェの設置地区数			○目標値の考え方 2023 年度に全 13 地区の設置が完了したが、引き続き全地区設置を目標値とする。	
○目標値と進捗状況				
	2023 実績	2024		
年度		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	13/13 地区	13/13 地区	13/13 地区	100%
○2024 年度の取り組み内容等 各認知症支えあいカフェの立ち上げ及び運営については、各地域包括支援センター、認知症地域支援推進員、地区担当保健師などが打合せを行ったりカフェを訪問したりして支援を行い、3 件の新規カフェが立ち上がった。 また、カフェの運営に携わる方の育成の支援として、認知症サポーターステップアップ講座を各圏域で開催した。カフェのスタッフやボランティアが継続的に活動に参加できるよう、カフェの「店長さん交流会」や「認知症サポーターステップアップ講座フォローアップ講座」を東区4圏域合同で実施した。				
○2025 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
23 か所	第9期広島市高齢者施策推進プランの目標値の考え方を踏まえつつ、2023 年度実績の設置か所数 21 か所から、毎年度 1 か所程度の増加を目指す。			
○取組上の課題等 認知症支えあいカフェスタッフやボランティアが不安なく活動を続けられるよう、カフェに訪問して支援したり、フォローアップ講座を引き続き行ったりする必要がある。 また、2025 年度から認知症カフェ支援金の給付要件が一部変更になるため、支援金の申請を希望するカフェに対しては、丁寧に説明を行う。特にレクリエーションや交流などが活動内容の中心になっているカフェについては、カフェの本来の役割である認知症の人及び家族等からの相談に対する助言の実施や、認知症に関する知識を深めるための講習会等の実施ができるよう支援する。				
○備考 第9期広島市高齢者施策推進プランの数値目標の考え方に合わせ、認知症支えあいカフェの設置地区数から設置か所数に目標指標を見直す。				

○ 地区別の設置状況

令和7年3月末現在 13地区24か所（うち、2か所は休止中）※開始時期の下線太字は令和6年度新規立ち上げ

地区	カフェ名称	実施主体	会場	開始時期
福田	ふくだオレンジカフェ	社会福祉法人 広島常光福祉会 居宅介護支援事業所ふくだの里 →福田地区社会福祉協議会	福田公民館 →ケアハウス・ラ ポーレひろしま	2016年10月
馬木	もみじカフェ馬木	地域住民(認知症サポーター) 馬木公民館	メープル馬木 →馬木公民館	2019年9月
上温品	認知症カフェぬくぬく	医療法人たかまさ会 山崎病院	山崎病院屋上庭園	2015年5月
	ほっとカフェ上温	地域住民(認知症サポーター)	温品福祉センター	2023年10月
	はびねす	就労支援B型事業所 仕事本舗 Happiness	就労支援B型事業所 仕事本舗 Happiness	<b>2024年8月</b>
温品	温品きんさいカフェ	温品学区社会福祉協議会 有限会社リラックス 地域住民(認知症サポーター)	世代間交流施設り らくす保育園 →温品公民館	2020年10月
	間所支えあいカフェ ※ ケアビレッジ温品カフェに移転	温品学区社会福祉協議会、広島 銀行(共催)	フォレオ広島東店広 島銀行温品支店セミ ナールーム	2021年7月 2022年2月閉店 (移転のため)
	旭が丘カフェ	温品学区社会福祉協議会 地域住民(認知症サポーター)	個人宅	2022年3月
	ケアビレッジ温品カフェ ※ 間所支えあいカフェから移転	温品学区社会福祉協議会 ケアビレッジライル温品 地域住民(認知症サポーター)	ケアビレッジライル 温品	2022年6月
	ぬくしな愛の家カフェ	愛の家グループホーム広島温品	愛の家グループホーム 広島温品	<b>2024年7月</b>
東浄	認知症カフェ よりみち	東浄学区社会福祉協議会	民家	2017年7月
戸坂城山	南2丁目にここにこカフェ	南2丁目町内会	広島第一病院地域交 流スペース	2019年7月
戸坂	さくらカフェ	戸坂学区社会福祉協議会	桜ヶ丘市営住宅5号 棟1階さくらサロン	2016年11月
	太田川カフェゆう (休止中)	太田川病院 認知症支援チーム	太田川病院	2017年10月
	やまねお茶べりサロンカフェ	山根町内会	松笠観音寺	<b>2024年6月</b>
牛田新町	牛田新町ローズカフェ	介護老人保健施設牛田バラ苑	牛田新町集会所1階	2018年6月
	カフェさかみち	地域住民(認知症サポーター)	さつき集会所	2023年4月
牛田	いっぽカフェ♪	地域住民(認知症サポーター)	cafe+space はじめ のいっぽ	2022年7月
早稲田	みち草カフェ	早稲田学区社会福祉協議会	早稲田集会所1階	2020年4月
矢賀	カナリアの会	矢賀新町南町町内会	南組会館	2023年4月
	やが ぽかぽか	矢賀学区まちづくり委員会	矢賀中央集会所	2023年6月
中山	中山やすらぎカフェ(café)	中山地区社会福祉協議会	中山集会所	2022年9月
	鏡が丘いきいきサロン	地域住民(認知症サポーター)	鏡が丘会館	2023年6月
尾長	オレンジカフェ ハッピーミ ルキー (休止中)	医療法人社団 ひろまさ会 谷本クリニック併設ミルキーケア	ミルキーケア1階	2016年4月
	認知症ケア&予防ハート ホーム CAFÉ	広島主城教会	広島主城教会	2020年2月

## アクションプラン 検証シート (2024 年度実績)

項目番号 2-(2)	具体的な取組	いきいき百歳体操に取り組みよう！	担当課	地域支えあい課															
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (2) 高齢者の健康づくり、介護予防の推進																			
事業目的・内容 誰もが介護予防に取り組むことのできる地域づくりを進めるため、高齢者が気軽に通える身近な地域の集会所等で、いきいき百歳体操等を行う「介護予防拠点」を平成 29 年度から整備している。																			
○課題と対応 介護を要する高齢者の増加が見込まれるため、地域団体等と協力して介護予防拠点を増やし、自ら健康づくりに取り組む高齢者を増やす。																			
○指標 拠点数と参加者数			○目標値の考え方 広島市高齢者施策推進プランの目標値の考え方(2025 年度までに高齢者の 1 割が参加)を踏まえ、2025 年度の東区の高齢者人口約 31,000 人のうち、1 割の 3,100 人の参加を目標とした。2025 年度に参加者数 31,000 人という目標を達成するためには、1 年で 224 人ずつ増加させる必要があることを踏まえて各年度の目標値を設定している。拠点数については、1 拠点あたりの参加者数を 20 人として設定した。 なお、2026 年度以降については、次期プランに併せて作成する。																
○目標値と進捗状況																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th>2023</th> <th colspan="3">2024</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>2,348 人 (107 拠点)</td> <td>2,652 人 (132 拠点)</td> <td>2,423 人 (111 拠点)</td> <td>62%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2023	2024			実績	目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	2,348 人 (107 拠点)	2,652 人 (132 拠点)	2,423 人 (111 拠点)	62%	
年度	2023	2024																	
	実績	目標値	実績	進捗率															
年度毎の 目標値	2,348 人 (107 拠点)	2,652 人 (132 拠点)	2,423 人 (111 拠点)	62%															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="5">進捗率算出(積み上げ式)</td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <math display="block">\frac{2,423 - 1,685}{2,876 - 1,685} = \frac{738}{1,191}</math> </td> </tr> <tr> <td colspan="5">※2019 実績値</td> </tr> </table>					進捗率算出(積み上げ式)					$\frac{2,423 - 1,685}{2,876 - 1,685} = \frac{738}{1,191}$					※2019 実績値				
進捗率算出(積み上げ式)																			
$\frac{2,423 - 1,685}{2,876 - 1,685} = \frac{738}{1,191}$																			
※2019 実績値																			
○2024 年度の取組内容等																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東区内で新たに6拠点(福木・温品圏域：1か所、戸坂圏域：1か所、牛田・早稲田圏域：2か所、二葉圏域：2か所)が開設され、2拠点が、活動中止・休止となった。</li> <li>・東区内の全ての圏域でデジタル技術の活用による、フレイル予防推進事業を実施。地域介護予防拠点で実施することにより、参加者の介護予防活動に対する意欲向上につながった。イベントで実施する際に、活動のPRを行い参加者数の増加に向けた働きかけを行った。</li> <li>・2024 年度から、地域介護予防拠点の支援を行う地域包括支援センター、リハビリ専門職、地域支えあい課で交流会を開始(年2回開催)。関係機関で拠点支援の課題等を共有することによって、支援の充実化や連携強化を図った。</li> </ul>																			
○2025 年度の目標値と取組方針等																			
目標値	取組方針等																		
2,560 人	<p>具体的な取り組みを「いきいき百歳体操に取り組みよう！」から「地域の介護予防活動に参加しよう！」に変更し、すべての高齢者が気軽に参加することができる「通いの場」の参加者数に見直しを行った。</p> <p>これにより、これまで指標としていた拠点数と参加者数から、国が目指している通いの場への高齢者の参加割合(8%)を第9期広島市高齢者施策推進プランも同様に目標値と定めていることを踏まえつつ、2025 年度は、東区の高齢者人口約 32,000 人のうち、8%の 2,560 人の参加を目標とし、東区では毎年度約 100 人の高齢者人口の増加見込みのため、8人ずつ参加者数を増やすこととする。</p>																		
○取組上の課題等																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動がマンネリ化している地域介護予防拠点が多いため、デジタル技術の活用によるフレイル予防推進事業や新しい体操(しゃんしゃんバランス体操)の導入、地域リハビリテーション活動支援事業を有効活用することで活動継続に向けて働きかける必要がある。</li> <li>・身近な活動場所や担い手の確保が難しく、新規立ち上げ・継続運営が困難な地域があることから、公共施設だけでなく自宅等でも気軽に始められることや、立ち上げ方法、若い世代の参加について市民にPRしていく。</li> </ul>																			
○備考																			

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 2-③	具体的な取組	地域子育てオープンスペースの参加者を増やそう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (3) 地域ぐるみの子育て支援				
事業目的・内容 子育て中の親子が地域で孤立しないよう、子育て支援ボランティアや民生委員児童委員が中心となり、月に1回程度、公民館や集会所等で子育て親子が気軽に集い交流できる地域子育てオープンスペースについてその設置や運営を支援する。				
○課題と対応 子育て中の親子が利用しやすいよう、地域団体と連携し、子育てオープンスペースの実施回数や実施箇所数を増やすとともに、多世代交流など多様な実施内容を取り入れ、参加者数を増やす。				
○指標 地域の子育てオープンスペースの参加者数			○目標値の考え方 2023 年度実績の参加者数から、毎年度 20 人ずつ増やすこととする。	
○目標値と進捗状況				
年度	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	2,800 人 (オンラインおしゃべり広場含む。)	2,820 人	2,781 人 (オンラインおしゃべり広場、多世代交流の場含む。)	98.6%
○2024 年度の取組内容等 オープンスペースは、19 か所、194 回開設、延 2,634 人が参加した。 自宅から参加できる「オンラインおしゃべり広場」を 16 回開催し、離乳食や子どもの発達などをテーマに取り上げ、149 人が参加した。 新たに開店した地域食堂へ妊婦の参加を促したところ、参加後は地域食堂以外でも地域の人から声かけがあるなど地域での見守りにつながった。また、高齢者が参加するウォーキング活動（牛田）などの地域の通いの場に、子育て中の親子が参加しやすいようなミニ講座を企画することで、多世代交流の場とすることができた。				
○2025 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
2,840 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の子育てオープンスペースや「オンラインおしゃべり広場」について、家庭訪問時や乳幼児健診会場のモニターを活用し、効果的な PR を行い、参加を呼び掛けていく。</li> <li>・ 地域の通いの場での多世代交流についても、家庭訪問時などに、PR を行い、参加を呼び掛けていく。</li> </ul>			
○取組上の課題等 ・ 地域の子育てオープンスペースについて、家庭訪問時にチラシを配布したり、乳幼児健診の会場でモニター視聴してもらう等、効果的な PR 方法を検討していく。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2024年度実績）

項目番号 2-(4)-(ア)	具体的な取組	「東区地域支えあいリスト」の掲載件数を増やそう！	担当課	地域支えあい課																															
<p>まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (4) 地域共生社会の実現に向けた取組</p>																																			
<p>事業目的・内容 高齢者、子ども、障害者などすべての人々が「住みなれた地域で安心して暮らすことができる」地域共生社会の実現を目指し、平成31年4月に「地域共生社会の実現に向けたネットワーク会議」を設置し、その取組の一環として、地域団体の活動をまとめた「東区地域支えあいリスト」を作成した。 子育て中の親子や高齢者、障害児・者が地域で通える場所やボランティアバンク等の生活支援の情報を、日常生活圏域（中学校区）ごとにマップとリストで掲載している。</p>																																			
<p>○課題と対応 少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。</p>																																			
<p>○指標 ※2021年度に指標上方修正 地域支えあいリストの掲載件数</p>			<p>○目標値の考え方 2019年度の掲載件数の296件をベースにして、今後いきいき百歳体操と認知症支えあいカフェの実施団体の増加を年12件～17件見込んでいる。</p>																																
<p>○目標値と進捗状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2023 実績</th> <th colspan="3">2024</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>395</td> <td>395件</td> <td>402件</td> <td>107%</td> </tr> </tbody> </table>			年度	2023 実績	2024			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	395	395件	402件	107%	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="3">進捗率算出（積み上げ式）</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">402</td> <td style="border: none;">-</td> <td style="border: none;">296 ※</td> <td style="border: none;">=</td> <td style="border: none;">106</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">395</td> <td style="border: none;">-</td> <td style="border: none;">296 ※</td> <td style="border: none;">=</td> <td style="border: none;">99</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="border: none;">※2019実績値</td> </tr> </table>		進捗率算出（積み上げ式）			402	-	296 ※	=	106	395	-	296 ※	=	99	※2019実績値				
年度	2023 実績	2024																																	
		目標値	実績	進捗率																															
年度毎の 目標値	395	395件	402件	107%																															
進捗率算出（積み上げ式）																																			
402	-	296 ※	=	106																															
395	-	296 ※	=	99																															
※2019実績値																																			
<p>○2024年度の実績内容等 9月にリストが完成し、会議の構成委員や地域団体への配付及びホームページの更新を行った。 2024年度は掲載件数が402件となり、7件増加した。 本市では、行政や地域包括支援センター等の各支援関係機関が管理している地域資源情報を一元管理・マップ化する「地域資源管理システム」を2024年度末に導入するため、現行の形での「東区地域支えあいリスト」の作成を終了する。このため、本システム移行後の情報の活用方法等について検討を進めていく。また、本システムに登録する新たな掲載情報について、引き続き情報収集を行っていく。</p>																																			
<p>○2025年度の目標値と取組方針等 まちづくりプランの見直しにより、本項目は削除する。</p>																																			
<p>○備考</p>																																			

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 2-(4)-(イ)	具体的な取組 医師会や歯科医師会等の医療介護関係者と地域団体が連携した活動を増やそう！	担当課 地域支えあい課		
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (4) 地域共生社会の実現に向けた取組				
事業目的・内容 誰もが、住み慣れた地域で最後まで安心して暮らせるためには、医療・介護ネットワーク（医療介護関係者）と介護予防・生活支援ネットワーク（地域団体）の有機的な連携を進める必要がある。このため、「認知症支えあいカフェ」への医療介護関係者による支援や、地域団体の研修会等への医療介護関係者による講師派遣等を行う。				
○課題と対応 少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。				
○指標 ※2021 年度に指標上方修正 医療介護関係者と地域団体が連携した地区数		○目標値の考え方 2020 年度から2地区社協エリアで開始し、毎年度2 地区増やし、2025 年度 13 地区全ての地区で実施することとする。		
○目標値と進捗状況		実績進捗率算出（積み上げ式）※2019 実績値 $\frac{7-0}{13-0} \times \frac{2}{13}$		
年度	2023 実績		2024	
年度毎の 目標値	13/13 地区	目標値 13/13 地区	実績 13/13 地区	進捗率 100%
○2024 年度の取組内容等（13地区44か所実施）				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の通いの場である地域介護予防拠点等8か所に薬剤師、4か所に歯科衛生士を派遣し、教室を実施した。</li> <li>・3か所の地域の健康教育で歯科医師による講座を実施した。</li> <li>・7中学校での認知症に関する講演に医師を調整し、地域の認知症カフェ（22か所）に看護師、医師等の参画を調整した。</li> </ul> →13 地区全ての地域に、地域包括支援センターと連携して、医療介護関係者を派遣できた。				
○2025 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
43 か所	医療介護関係者と地域団体の連携は 13 地区全てで実施しているため、今後は実施か所数を増やしていくこととした。			
2023 年度実績の 39 か所から、今後、毎年度 2 か所ずつ増やす目標とする。				
○取組上の課題等 地域の通いの場に、13 地区バランスよく医療介護関係者を派遣できるよう調整支援を行ったが、通いの場によっては、医療介護関係者による支援や講座を希望しない所もあるため、引き続きニーズのない場へも働きかけていく。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 2-(4)-(ウ)	具体的 な取組	地域共生社会の実現のため、多世代交流の場 を立ち上げよう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (4) 地域共生社会の実現に向けた取組				
事業目的・内容 公民館や集会所等で、子ども、高齢者、障害者などを対象とした多世代交流の場を設置し、茶話会や季節の行事等を定期的で開催することで、協働による相乗効果や新たな担い手の発掘など、効率的な取組に発展させる。				
○課題と対応 少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。				
○指標 多世代交流の場の開催地区数			○目標値の考え方 2018年は1地区（戸坂地区）の地区社協のエリアで開催しており、2020年からは年2地区ずつ増やし、2025年度には13か所全ての地区で開催することとしていた。2023年度には全地区で開催でき、それを継続する。	
○目標値と進捗状況				
		2024		
年度	2022 実績	目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	13/13 地区	13/13 地区	13/13 地区	100%
○2024年度の実績内容等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月から牛田新町地域食堂の開設準備の協力、7月からは運営継続支援を実施</li> <li>・尾長学区の高校生が常設オープンスペースに学生ボランティアとして参加</li> <li>・尾長地区こども食堂の開設準備に協力</li> <li>・中山地区のオープンスペースで障害者支援事業所の自主製品販売の再開について調整</li> </ul> ※（参考）地区別の取組内容は次ページに記載				
○2025年度の目標値と取組方針等 まちづくりプランの見直しにより、本項目は削除するが、事業としては引き続き実施する。				
○備考				

## (参考) 地区別の取組内容

地区	取組内容	備考
福田	<ul style="list-style-type: none"> <li>福木幼稚園にて地域の高齢者と交流</li> <li>いきいき百歳体操「新しいいきいきスマイル会」に園での交流やボランティア、見学参加など呼び掛けている。</li> </ul>	2023年11月～実施
馬木		
温品	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症支援あいカフェ「温品きんさいカフェ」に近隣の保育園の園児が参加し、交流</li> <li>温品地区の認知症カフェで障害者作業所の手作り菓子をお茶菓子として活用</li> <li>温品地区のウォーキング「サロンほっと」で障害者作業所が自主製品の販売を開始</li> </ul>	2023年度～実施
上温品	<ul style="list-style-type: none"> <li>温品地区民生委員児童委員協議会地区定例会において、障害者作業所のお菓子を配布</li> </ul>	2023年6月～実施
	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てオープンスペース「はとぼっぼ」、「こんべいとう」に障害者事業所が参加し、交流</li> </ul>	2024年1月～実施
戸坂	<ul style="list-style-type: none"> <li>「やまね お茶べりサロン」：幼児とその保護者が地域の高齢者等と交流</li> <li>介護予防拠点交流会にて、障害者作業所のお菓子を提供し地域住民と交流</li> <li>介護予防拠点に障害者作業所のメンバーとスタッフが月1回参加</li> <li>戸坂地区民生委員児童委員協議会地区定例会において、障害者作業所のお菓子を配布</li> </ul>	2023年9月11月～実施 2024年1月～ 2024年度も継続中
戸坂城山	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども食堂「らくらく広場」：地域の小学生と高齢者、大学生が交流</li> </ul>	2023年9月に再開
東浄	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいき百歳体操「いきいき百歳体操 in 中山台」に障害者支援事業所が栽培した野菜や焼き菓子を販売し、高齢者と交流</li> <li>中山台集会所「花の寄せ植え会」：障害者支援事業所が栽培した野菜や焼き菓子を販売し、地域住民と交流</li> <li>東浄子ども行事（縁日）：障害者支援事業所が自主製品を販売</li> </ul>	2021年7月から実施（コロナで休止期間あり）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸坂新町郵便局：障害者支援事業所が自主製品を販売</li> </ul>	2024年度も継続実施中
牛田新町	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いきいき健康フェスティバル」：大学生が参加し、パークスポーツの遊び方の指導を行い、参加した乳幼児・小学生やその保護者、高齢者と交流</li> <li>子育てオープンスペース「わくわく・しんまち」：大学生が参加し、乳幼児やその保護者、ボランティアと交流</li> <li>障害者施設で実施するいきいき百歳体操に障害者が参加し、地域の高齢者と交流</li> <li>牛田新町地域食堂の開設準備、運営支援</li> </ul>	2022年度～実施
		2023年度～実施 2024年4月～実施
牛田	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のウォーキングの拠点「早稲田神社まで歩こう！」：障害者支援事業所が自主製品を販売し、障害者が地域住民（高齢者や乳幼児の親子）と交流</li> <li>地域のウォーキングの拠点「安楽寺まで歩こう！」：障害者支援事業所が自主製品の販売を開始。子育て中の親子も参加し、交流</li> </ul>	2022年10月～実施
牛田早稲田		2021年10月～実施
中山	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいきサロン「さくらんぼの会」：障害者支援事業所が自主製品を販売</li> </ul>	2024年度も継続実施中
	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てオープンスペース「中山子育てのつどい」：障害者支援事業所の自主製品販売の再開について調整</li> </ul>	(2025年4月から再開)
尾長	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラノード広島郵便局：障害者支援事業所が自主製品を販売</li> </ul>	2024年度も継続実施中
	<ul style="list-style-type: none"> <li>常設オープンスペースぼっぼひがしに学区内の高校生が学生ボランティアとして参加</li> <li>子ども食堂の開設準備</li> </ul>	2024年度実施 2025年1月
矢賀	<ul style="list-style-type: none"> <li>矢賀多世代カフェ「やが ほかほか」が開店。乳幼児や小学生も参加し、地域の高齢者等と交流。2か所の障害者支援事業所が自主製品の販売を実施</li> <li>矢賀地区民生委員児童委員協議会地区定例会において、障害者作業所のお菓子を配布</li> </ul>	2023年6月～実施 2023年度～実施

## アクションプラン 検証シート (2024 年度実績)

項目番号 2-(5)-(ア)	具 体的 な取 組	元氣じゃ健診を受けよう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりの方向性及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (5) 地域で取り組む生活習慣病予防				
事業目的・内容 区民の健康の保持増進、健康寿命の延伸を図るため、生活習慣病の早期発見等を目的に、元氣じゃ健診（40 歳～74 歳の方；特定健康診査、75 歳以上の方；健康診査）を実施しているが、受診者が少ない。このため、平成 31 年度から社会福祉協議会と連携し、「自分の健康は自分で守る」という意識のもと、地域ぐるみで住民同士が呼び掛け合って健診受診ができるよう、モデル地区を定めて巡回健診の PR チラシ作成・配付をする等、受診率向上に向けた取組を行っている。				
○課題と対応 平均寿命と健康寿命の差が大きいため、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下（フレイル）の早期発見のため、特定健康診査受診率を高めることにより健康寿命を延ばす。				
○指標 特定健康診査受診率 (対象：広島市国民健康保険に加入する 40 歳～74 歳の者)			○目標値の考え方 目標値は、「広島市国民健康保険特定健康診査等実施計画【第 3 期：2018 年度～2023 年度】」の 2023 年度の目標値 50%を基に設定している。  <参考>2022 年度特定健康診査受診率：広島市 27.6%、東区 27.3%	
○目標値と進捗状況				
年度	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	29.2% (確定値)	55%	※16.5% (3 月末暫定値)	30%
※当年度の実績（受診率）について 2025 年 11 月頃に 2024 年度実績（確定値）が判明する。				
○2024 年度の実績等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・区役所広告モニターや Facebook を活用して全世代を対象にした受診勧奨メッセージの情報発信を行うとともに、こにちは赤ちゃん事業や乳幼児健診等で若い世代へ啓発チラシの配付を行った。</li> <li>・公衛協や女性会等地域団体及び医療・福祉関係団体の会議において、受診率向上の取組について説明し、協力を依頼した。</li> <li>・若い世代向けの啓発ポスターを幼稚園や認定こども園、公立保育園 31 園に配付し、周知を依頼した。</li> <li>・ケアマネジャー自主勉強会で元氣じゃ健診の広報及び担当する高齢者家族への受診勧奨を依頼した。</li> <li>・健診実施医療機関（56 か所）での積極的な受診勧奨を行うため、院内へのポスター、ステッカーの掲示を昨年度に続き依頼した他、歯科医院（49 か所）・薬局（58 か所）でのポスター掲示も依頼した。2024 年度は新たに、健診実施医療機関以外の区内医療機関（36 か所）へも広報のためのポスター掲示及びチラシ配付を依頼した。</li> </ul>				
○2025 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
32%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2024 年に策定された広島市国民健康保険第 3 期データヘルス計画・第 4 期特定健康診査等実施計画の目標値に準じて、2025 年度の目標値を設定する。</li> <li>・区役所広告モニターや Facebook を活用して全世代を対象にした受診勧奨メッセージの情報発信を行う他、地域団体・関係機関と連携し、各世代への効果的な受診率向上の取組を実施。</li> <li>・医師会と連携し、医療機関における実施件数アップに向けた取組を実施する他、元氣じゃ健診未実施医療機関での受診勧奨メッセージの情報発信を依頼。</li> </ul>			
○取組上の課題等 受診率の確定に 1 年以上の時間を要するため、取組の効果が分かりづらい。また、様々な取組を行っているが、受診率の大幅な向上には繋がらず、取組方法や評価方法の再検討が必要である。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 2-(5)-(イ)	具体的な取組	野菜摂取量を増やすため、地元の野菜を食べよう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (5) 地域で取り組む生活習慣病予防				
事業目的・内容 住民一人一人が自分自身の健康に関心を持ち、野菜摂取の大切さ、栄養バランスを意識した食事について理解を深めることを目的として、健康教室の開催、個別相談等を行っている。平成 26 年度からは区役所食堂において、健康に関する情報の発信、健康相談（年3回）、「元気じゃけん定食」の提供支援（月 2 回）等を通じた啓発を行っている。				
○課題と対応 平均寿命と健康寿命の差が大きいため、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下（フレイル）の早期発見のため、特定健康診査受診率を高めることにより健康寿命を延ばす。				
○指標 地元野菜を活用したレシピの数			○目標値の考え方 すこやか食生活推進リーダー※1 及びすこやか食生活推進サポーター※2 と連携し、毎年、夏野菜と冬野菜を使ったレシピを 1 品ずつ計 2 品を開発する。 ※1 地域で健康増進・栄養改善活動を行う本市登録の管理栄養士又は栄養士 ※2 本市実施のすこやか食生活推進サポーター養成講座を修了し登録したボランティア	
○目標値と進捗状況				
年度	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	2品/年	2品/年	2品/年	100%
○2024 年度の実績内容等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代に野菜摂取を啓発するため、すこやか食生活推進リーダー及びすこやか食生活推進サポーターの協力のもと、比治山大学及び広島女学院大学と小松菜を使った協働レシピを開発し、大学祭、食育講座及び木曜であい市で配付した。</li> <li>・すこやか食生活推進サポーターと協同し、大根レシピやねぎをテーマにした食育新聞を作成して、職員食堂に掲示した。</li> <li>・これまでに作成したレシピは、Facebook や子育て応援アプリで情報提供するとともに、区役所職員食堂、二葉公民館、乳幼児健診、子育て世代向けの訪問事業等で配付した。</li> </ul>				
○2025 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
12 品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学連携事業を活用し、若い世代への啓発に努める。</li> <li>・木曜であい市、乳幼児健診会場のモニターや市公式 SNS 等を活用した情報発信を行う。</li> </ul>			
これまで開発したレシピ（10 品）も活用しながら、健康教室の開催・個別相談を行っているため、2025 年度からは積み上げ式の目標値とした。				
○取組上の課題等 引き続き、作成したレシピを活用した普及啓発を行う。				
○備考				

# 旨さ主役級！お手軽常備菜！

## 【小松菜とツナの甘辛炒め】

### 材料（約3食分）

小松菜	120g（約3株）
ツナ缶（油漬け）	1缶（70g）
しょうゆ	小さじ1（6g）
砂糖	小さじ1（3g）



### 栄養価（約3食分）

エネルギー	126kcal
たんぱく質	15.6g
脂質	1.9g
食塩相当量	2.2g

### 〈作り方〉

- ① フライパンにツナ缶を入れて火をつけ、3cmのざく切りにした小松菜を加えしんなりするまで炒める。
- ② しょうゆと砂糖を加え、混ぜる。
- ③ ご飯に乗せて完成！



比治山大学 健康栄養学部 管理栄養学科 学生

## 小松菜のポテトサラダ

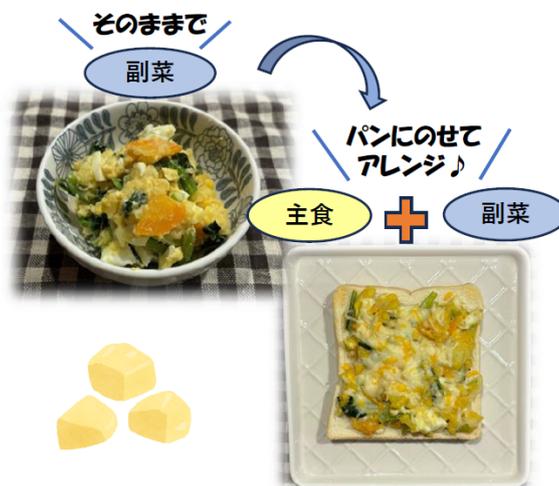
### ■材料（2人分）

小松菜	1株(45g)
じゃがいも	小2個(150g)
たまねぎ	10g
にんじん	10g
ゆで卵	1個(50g)

〈A〉	マヨネーズ	大さじ1(12g)
	しょうゆ	小さじ1/2(3g)
	塩	少々(0.2g)
	こしょう	少々

### 〈栄養価〉1人分

エネルギー(kcal)	139
たんぱく質(g)	4.4
脂質(g)	6.6
炭水化物(g)	12.7
食塩相当量(g)	0.5
カルシウム(mg)	48
鉄(mg)	1.2



### ■作り方

- ① 小松菜はひと口大、たまねぎは薄切り、にんじんはいちょう切りにする。
- ② ①を耐熱容器に入れてラップをし、電子レンジで600W、2分加熱する。
- ③ じゃがいもは皮をおき、ひと口大の乱切りにする。
- ④ 耐熱容器に③を入れてラップをし、電子レンジで600W、3分加熱する。(硬ければ再度加熱)
- ⑤ ④にゆで卵を入れ、フォークなどでつぶしたら、②と〈A〉を入れ、混ぜ合わせる。

### ★ポイント

- ・電子レンジで作れるので、不足しがちな野菜を手軽にプラスできます。
- ・夜に作り置きして、朝食に食べるのもおすすめです！
- ・パンに「ポテトサラダ」と「チーズ」をのせて焼くと、『主食』と『副菜』が一緒にとれます。



広島女学院大学 実習生

## アクションプラン 検証シート (2024 年度実績)

項目番号 2-(5)-(ウ)	具体的な取組	東区を歩いて、運動習慣を身につけよう!	担当課	地域支えあい課	
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (5) 地域で取り組む生活習慣病予防					
事業目的・内容 区民一人一人が自分自身の健康に関心を持ち、健康ウォーキングに取り組むきっかけづくりを目的に、平成18年度から各地区公民館等で健康ウォーキング教室を開催し、ウォーキングの普及啓発に取り組んでいる。平成19年度からは、年1回各地区のウォーキングコースを活用した「健康ウォーキングのつどい」を東区公衆衛生推進協議会及び、東区スポーツセンターと共催で開催していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、令和2年度以降中止となっている。令和4年度からは、新たな取組として「新牛田公園・牛田総合公園いきいき健康フェスティバル」を開催している。 一方、コロナ禍で生まれた活動として、地域団体が主催する週1回自宅から地域の拠点に歩く取組が開始しており、健康づくりや介護予防に効果的な活動へと発展している。					
○課題と対応 平均寿命と健康寿命の差が大きいこと、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下（フレイル）の早期発見のため、特定健康診査受診率を高めることにより健康寿命を延ばす。					
※2021 年度に指標②追加 ○指標① 「健康ウォーキングのつどい」の60歳未満参加者割合 指標② 週1回程度ウォーキング活動をする地区数			○目標値の考え方 指標①：2018年度、2019年度の60歳未満参加者割合（アンケート回答者より算出）は、それぞれ3%、6%であった。2020年度は、10%以上、2022年度は15%以上、2025年度は20%以上とする。  指標②：2021年度実績が6地区のため、2025年度には13地区全ての地区で実施することとする。ウォーキング活動とは、地域団体が実施主体となり、概ね地(学)区単位での活動を計上する。		
○目標値と進捗状況					
		2023 実績	2024		
			目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	指標①	6.7%	15% 以上	8.3%	55.3%
	指標②	6/13 地区	12/13 地区	6/13 地区	60%
○2024 年度の取組内容等 ・10月に「新牛田公園・牛田総合公園いきいき健康フェスティバル」を開催し、その中で実施したウォーキング（ノルディック・ウォーク）には12名の参加があった。 ・ウォーキング活動未実施地区について、地区団体の活動状況の実態把握に取り組み、ラジオ体操等の屋外活動が行われていることを把握した。 ・ウォーキンググループに対して健康教室を開催するなど、自主グループとして継続できるよう支援を行った。 ・2月に、東区スポーツセンターと共催で、ウォーキング講座を開催した。					
○2025 年度の目標値と取組方針等					
目標値		取組方針等			
週1回以上、屋外活動を行っているグループがある地区数（13/13地区）		・ウォーキングやラジオ体操等の屋外活動を週1回以上行う地区が区内13地区全てで維持できるよう、活動の継続支援及び新たなグループの立ち上げ支援を行う。			
○取組上の課題等 ・ウォーキング以外の健康づくりに取り組んでいる団体は、新たにウォーキング活動を行うことへの関心は低く、活動を広げることが困難な状況にある。					
○備考 ・運動習慣の定着は生活習慣病等の発症予防・重症化予防につながることから、地域団体等と連携を図りながら、身体活動や運動習慣の確立・定着につながる取組を推進する。					